



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社

コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>

代表者(役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 小谷 進

問合せ先責任者(役職名) 代表取締役兼専務執行役員 (氏名) 岡安 秀喜 (TEL)044-580-3211

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	362,627	10.2	3,326	140.5	2,077		6,699	
25年3月期第3四半期	329,088	4.3	1,383	73.9	2,117		9,756	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,331百万円(%) 25年3月期第3四半期 4,284百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.01	
25年3月期第3四半期	30.39	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	344,499	92,852	25.4	238.46
25年3月期	311,325	81,576	24.5	237.97

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 87,561百万円 25年3月期 76,404百万円

(注) 自己資本は、純資産から少数株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		0.00	0.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	505,000	11.8	10,000	66.8	5,000	515.8	500		1.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想値は、平成26年3月期第3四半期における期中平均株式数を用いて算出しています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
以外の会計方針の変更： 無
会計上の見積りの変更： 無
修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	372,223,436株	25年3月期	326,093,836株
期末自己株式数	26年3月期3Q	5,026,246株	25年3月期	5,024,569株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	352,436,759株	25年3月期3Q	321,069,721株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料の4ページをご参照下さい。

目次

1. 四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績	P. 2
(2) 連結財政状態	P. 3
(3) 連結業績予想	P. 4
2. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(1) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(2) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
(3) セグメント情報等	P. 12

問合せ先：IR部

電 話 (044) 580-3211
ファクシミリ (044) 580-4064
Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

1. 四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	第 3 四 半 期			第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間		
	平成26年3月期 (平成25年10月～ 平成25年12月)	平成25年3月期 (平成24年10月～ 平成24年12月)	増減率	平成26年3月期 (平成25年4月～ 平成25年12月)	平成25年3月期 (平成24年4月～ 平成24年12月)	増減率
売 上 高	126,297	104,511	20.8%	362,627	329,088	10.2%
営 業 損 益	2,757	1,770	-	3,326	1,383	140.5%
経 常 損 失	124	2,850	-	2,077	2,117	-
当期純損失	1,748	2,256	-	6,699	9,756	-

平成26年3月期第3四半期(平成25年10月1日～平成25年12月31日)における連結売上高は、円安の効果に加え、カーエレクトロニクスがOEM、市販ともに増加したことから、前年同期に比べ20.8%増収の126,297百万円となりました。

営業損益は、為替の影響等により販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加、および構造改革の効果やコストダウンによる原価率の良化により、前年同期の1,770百万円の損失から2,757百万円の利益となりました。当期純損失は、為替差損が1,372百万円増加の1,546百万円となったことに加え、前年同期の投資有価証券評価損戻入益1,100百万円はありましたが、営業損益が改善したことにより、前年同期の2,256百万円から1,748百万円に縮小しました。

当四半期の平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは19.2%の円安、対ユーロは23.0%の円安となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ25.6%増収の86,186百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、主にOEMが国内や中南米を中心に増加したことから、増収となりました。カーオーディオについては、OEMが国内、中国および北米で増加し、市販市場向けも主に中南米や北米で増加したことから、増収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の52%から54%となりました。

国内外別の売上については、国内は19.0%増収の36,345百万円、海外は30.9%増収の49,841百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加しましたが、主に売上が増加したことから、前年同期に対して4.5倍の2,691百万円となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ18.5%増収の29,416百万円となりました。光ディスクドライブ関連製品は減少しましたが、円安の効果もあり、主にDJ機器やCATV関連機器が増加しました。

国内外別の売上については、国内は16.4%増収の8,025百万円、海外は19.3%増収の21,391百万円となりました。

営業損益は、利益率の高いDJ機器等の売上が増加したことや構造改革効果による販売費及び一般管理費の減少により、前年同期の1,673百万円の損失から436百万円の利益となりました。

その他の売上は、主に電子部品が増加しましたが、F A 機器の減少により、前年同期に比べ3.4%減収の10,695百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は1.9%減収の7,228百万円、海外は6.2%減収の3,467百万円となりました。

営業損失は、販売費及び一般管理費が増加しましたが、原価率が良化したことにより、前年同期の761百万円から391百万円に縮小しました。

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における連結売上高は、光ディスクドライブ関連製品や市販カーナビゲーションシステムが減少しましたが、円安の効果に加え、O E Mカーナビゲーションシステムの増加により、前年同期に比べ10.2%増収の362,627百万円となりました。

営業利益は、原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加はありましたが、売上高が増加したことにより、前年同期に対して2.4倍の3,326百万円となりました。当期純損失は、為替差損が前年同期に比べ1,932百万円増加の2,230百万円となりましたが、営業利益が増加したことに加え、前年同期に特別損失として投資有価証券評価損を4,730百万円計上したことから、前年同期の9,756百万円から6,699百万円に縮小しました。

当第3四半期連結累計期間における平均為替レートは、対米ドルは19.5%の円安、対ユーロは22.7%の円安となりました。

（注）各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

（2）連結財政状態

当第3四半期末の総資産は、有形固定資産が減少しましたが、現金及び預金や棚卸資産、受取手形及び売掛金、ならびに無形固定資産が増加したことにより、前期末に比べ33,174百万円増加し、344,499百万円となりました。有形固定資産は設備投資の抑制により1,660百万円減少し、63,342百万円となりました。一方、現金及び預金は、当期第1四半期中に第三者割当増資を行ったことなどにより16,256百万円増加し、38,315百万円となりました。棚卸資産は、為替の円安影響があったことに加え、売上が好調なカーエレクトロニクス製品を中心に8,185百万円増加し、84,651百万円となりました。また、受取手形及び売掛金は、為替の円安影響により2,600百万円増加し、81,578百万円となりました。無形固定資産は、製品組込ソフトウェアの新規取得などにより2,513百万円増加し、39,223百万円となりました。

負債については、事業構造改善費用引当金が6,211百万円減少したことに加え、借入金が1,394百万円減少しましたが、仕入高の増加に伴い支払手形及び買掛金が25,311百万円増加したことから、前期末に比べ21,898百万円増加し、251,647百万円となりました。

純資産については、当第3四半期連結累計期間に当期純損失6,699百万円を計上しましたが、第三者割当増資により、資本金および資本剰余金がそれぞれ4,475百万円増加したことに加え、円安により為替換算調整勘定が8,658百万円増加したことなどにより、前期末に比べ11,276百万円増加し、92,852百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の1,629百万円の支出から、25,921百万円の収入となりました。これは、前年同期に比べて、売上債権の減少額が12,503百万円縮小した一方で、仕入債務が12,629百万円の減少から20,685百万円の増加に転じたこと、および棚卸資産の増加額が15,411百万円縮小したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が5,442百万円減少し、18,606百万円の支出となりました。これは主に、前年同期にタイの生産法人の復旧投資があったこともあり、固定資産の取得による支出が4,458百万円減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当期に実施した第三者割当増資による8,643百万円の収入がありましたが、前年同期の借入による6,746百万円の収入が、当期は2,656百万円の支出に転じたため、前年同期に比べて収入が2,025百万円減少し、6,632百万円の収入となりました。

また、外貨建の現金及び現金同等物の換算差額は、前年同期の578百万円のプラスから2,004百万円のプラスとなりました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ15,951百万円増加し、36,918百万円となりました。

(3) 連結業績予想

平成25年8月6日に発表した平成26年3月期通期の連結業績予想の変更はありません。

(金額単位 百万円)

科 目	平成26年3月期 予 想	平成25年3月期 実績(ご参考)	増減率
売 上 高	505,000	451,841	11.8%
営 業 利 益	10,000	5,997	66.8%
経 常 利 益	5,000	812	515.8%
当 期 純 損 益	500	19,552	-

なお、以上の業績予想においては、第4四半期の為替レートを、米ドルは前回発表予想時より5円円安の1米ドル=100円、ユーロは5円円安の1ユーロ=135円と想定しています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,059	38,315
受取手形及び売掛金	78,978	81,578
商品及び製品	40,032	44,564
仕掛品	11,447	12,764
原材料及び貯蔵品	24,987	27,323
繰延税金資産	4,925	5,449
その他	14,559	18,137
貸倒引当金	1,734	1,857
流動資産合計	195,253	226,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,680	68,874
機械、運搬具及び工具器具備品	146,881	150,005
リース資産	9,333	12,743
その他	21,344	20,418
減価償却累計額	180,236	188,698
有形固定資産合計	65,002	63,342
無形固定資産		
のれん	606	573
ソフトウェア	34,898	37,663
その他	1,206	987
無形固定資産合計	36,710	39,223
投資その他の資産		
投資有価証券	6,491	7,622
繰延税金資産	5,728	5,783
その他	2,351	2,216
貸倒引当金	210	206
投資その他の資産合計	14,360	15,415
固定資産合計	116,072	117,980
繰延資産	-	246
資産合計	311,325	344,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,773	84,084
短期借入金	20,535	22,741
1年内返済予定の長期借入金	62,677	72,077
未払法人税等	2,617	3,047
未払費用	28,431	29,584
製品保証引当金	2,678	2,256
事業構造改善費用引当金	6,211	-
その他	17,328	18,841
流動負債合計	199,250	232,630
固定負債		
長期借入金	13,000	-
退職給付引当金	13,153	14,446
その他	4,346	4,571
固定負債合計	30,499	19,017
負債合計	229,749	251,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,257	91,732
資本剰余金	51,541	56,016
利益剰余金	17,318	10,619
自己株式	11,050	11,051
株主資本合計	145,066	147,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	695	1,539
繰延ヘッジ損益	34	176
為替換算調整勘定	66,260	57,602
海外子会社年金調整額	3,063	3,516
その他の包括利益累計額合計	68,662	59,755
少数株主持分	5,172	5,291
純資産合計	81,576	92,852
負債純資産合計	311,325	344,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	329,088	362,627
売上原価	262,005	291,356
売上総利益	67,083	71,271
販売費及び一般管理費	65,700	67,945
営業利益	1,383	3,326
営業外収益		
受取利息	106	130
受取配当金	123	81
その他	378	190
営業外収益合計	607	401
営業外費用		
支払利息	1,925	2,007
為替差損	298	2,230
その他	1,884	1,567
営業外費用合計	4,107	5,804
経常損失()	2,117	2,077
特別利益		
固定資産売却益	111	118
投資有価証券売却益	136	-
災害保険金収入	35	66
その他	-	3
特別利益合計	282	187
特別損失		
事業構造改善費用	-	1,182
固定資産除売却損	90	204
投資有価証券評価損	4,730	-
災害損失	490	-
その他	307	6
特別損失合計	5,617	1,392
税金等調整前四半期純損失()	7,452	3,282
法人税、住民税及び事業税	2,739	3,069
法人税等調整額	21	625
法人税等合計	2,718	3,694
少数株主損益調整前四半期純損失()	10,170	6,976
少数株主損失()	414	277
四半期純損失()	9,756	6,699

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	10,170	6,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,644	844
繰延ヘッジ損益	133	142
為替換算調整勘定	4,162	8,870
持分法適用会社に対する持分相当額	9	188
海外子会社年金調整額	62	453
その他の包括利益合計	5,886	9,307
四半期包括利益	4,284	2,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,997	2,208
少数株主に係る四半期包括利益	287	123

四半期連結損益計算書
第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	104,511	126,297
売上原価	83,496	99,451
売上総利益	21,015	26,846
販売費及び一般管理費	22,785	24,089
営業利益又は営業損失()	1,770	2,757
営業外収益		
受取利息	41	56
受取配当金	14	14
その他	147	14
営業外収益合計	202	84
営業外費用		
支払利息	671	677
為替差損	174	1,546
その他	437	742
営業外費用合計	1,282	2,965
経常損失()	2,850	124
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	1,100	-
固定資産売却益	11	18
その他	1	3
特別利益合計	1,112	21
特別損失		
事業構造改善費用	-	297
固定資産除売却損	33	27
その他	3	2
特別損失合計	36	326
税金等調整前四半期純損失()	1,774	429
法人税、住民税及び事業税	343	829
法人税等調整額	276	421
法人税等合計	619	1,250
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,393	1,679
少数株主利益又は少数株主損失()	137	69
四半期純損失()	2,256	1,748

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,393	1,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	103
繰延ヘッジ損益	24	95
為替換算調整勘定	8,645	6,183
持分法適用会社に対する持分相当額	19	19
海外子会社年金調整額	222	271
その他の包括利益合計	8,629	5,885
四半期包括利益	6,236	4,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,982	3,832
少数株主に係る四半期包括利益	254	374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	7,452	3,282
減価償却費	18,758	18,936
退職給付引当金の増減額(は減少)	870	656
事業構造改善費用引当金の増減額(は減少)	-	6,211
受取利息及び受取配当金	229	211
支払利息	1,925	2,007
投資有価証券評価損益(は益)	4,730	-
売上債権の増減額(は増加)	15,016	2,513
たな卸資産の増減額(は増加)	18,498	3,087
仕入債務の増減額(は減少)	12,629	20,685
未払費用の増減額(は減少)	6,526	172
その他	8,395	1,735
小計	4,360	30,099
利息及び配当金の受取額	229	211
利息の支払額	1,872	1,951
法人税等の支払額	4,346	2,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,629	25,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	396	144
固定資産の取得による支出	24,117	19,659
固定資産の売却による収入	314	1,153
その他	151	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,048	18,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	7,928	944
長期借入れによる収入	44,664	34,464
長期借入金の返済による支出	45,846	38,064
セール・アンド・リースバックによる収入	3,413	2,030
株式の発行による収入	-	8,643
リース債務の返済による支出	1,799	1,380
その他	297	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,657	6,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	578	2,004
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	16,442	15,951
現金及び現金同等物の期首残高	45,953	20,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,511	36,918

3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(1) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(2) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年6月28日に、株式会社NTTドコモおよび三菱電機株式会社に対し、第三者割当増資により新株式を発行しました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、資本金および資本剰余金は、それぞれ4,475百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は91,732百万円、資本剰余金は56,016百万円となりました。

(3) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	109,159	33.2%	108,981	30.1%	0.2%
	海外	118,399	35.9	144,745	39.9	22.3
		227,558	69.1	253,726	70.0	11.5
ホームエレクトロニクス	国内	21,961	6.7	21,691	6.0	1.2
	海外	47,072	14.3	56,938	15.7	21.0
		69,033	21.0	78,629	21.7	13.9
その他	国内	19,635	5.9	19,093	5.2	2.8
	海外	12,862	4.0	11,179	3.1	13.1
		32,497	9.9	30,272	8.3	6.8
連結売上高計	国内	150,755	45.8	149,765	41.3	0.7
	海外	178,333	54.2	212,862	58.7	19.4
		329,088	100.0	362,627	100.0	10.2

(単位：百万円)

		前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
カーエレクトロニクス	国内	30,537	29.2%	36,345	28.8%	19.0%
	海外	38,074	36.4	49,841	39.4	30.9
		68,611	65.6	86,186	68.2	25.6
ホームエレクトロニクス	国内	6,895	6.6	8,025	6.4	16.4
	海外	17,936	17.2	21,391	16.9	19.3
		24,831	23.8	29,416	23.3	18.5
その他	国内	7,371	7.1	7,228	5.7	1.9
	海外	3,698	3.5	3,467	2.8	6.2
		11,069	10.6	10,695	8.5	3.4
連結売上高計	国内	44,803	42.9	51,598	40.9	15.2
	海外	59,708	57.1	74,699	59.1	25.1
		104,511	100.0	126,297	100.0	20.8

2. セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	227,558	69,033	32,497	329,088		329,088
セグメント間の内部 売上高または振替高	563	191	5,553	6,307	6,307	
計	228,121	69,224	38,050	335,395	6,307	329,088
セグメント利益(損失)	8,679	4,703	1,459	2,517	1,134	1,383

(注) 1. セグメント利益(損失)の調整額 1,134百万円には、セグメント間取引消去163百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 1,297百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	253,726	78,629	30,272	362,627		362,627
セグメント間の内部 売上高または振替高	544	135	6,097	6,776	6,776	
計	254,270	78,764	36,369	369,403	6,776	362,627
セグメント利益(損失)	5,639	588	1,355	3,696	370	3,326

(注) 1. セグメント利益(損失)の調整額 370百万円には、セグメント間取引消去388百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 758百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

前第3四半期連結会計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,611	24,831	11,069	104,511		104,511
セグメント間の内部 売上高または振替高	173	55	1,817	2,045	2,045	
計	68,784	24,886	12,886	106,556	2,045	104,511
セグメント利益(損失)	604	1,673	761	1,830	60	1,770

(注) 1. セグメント利益(損失)の調整額60百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等31百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	86,186	29,416	10,695	126,297		126,297
セグメント間の内部 売上高または振替高	106	47	2,129	2,282	2,282	
計	86,292	29,463	12,824	128,579	2,282	126,297
セグメント利益(損失)	2,691	436	391	2,736	21	2,757

(注) 1. セグメント利益(損失)の調整額21百万円には、セグメント間取引消去205百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 184百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。